

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 王慈福祉会	代表者	理事長 胡谷 直	法人・ 事業所 の特徴	「こころゆたかに すこやかに」 王慈福祉会は、高齢者・障がい者・児童など、幅広い分野でのサービス提供を行っています。 十王堂おうじでは、各方面と連携し、いつまでもご利用者が笑顔あふれる一日を過ごして頂けるような支援や提案を行っています。
事業所名	十王堂おうじ	管理者	蓮岡 亮一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 計画の明確化を図り、達成状況が確認できるようにする。 快適、安心してサービスをご利用してもらえよう様々な研修、キャリアアップに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得を行う雰囲気が出来、相乗効果でキャリアアップを行う意識が高まった。 以前に比べ計画は明確になった。この上で、更なる明確化に努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得をし、キャリアアップが進んでいるように思う。 地域へ関わる機会は、長期的に考えていくと良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 各職員に合った研修の提案などを行い、キャリアアップを継続していく。 キャリアアップで身につけたものを、実践で活かせるような環境づくりを行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 見学会・相談会等の回覧とともに、地域の方と合同で催し物などの開催を行う。 自治会、老人会、婦人会、子供会等と連携し、交流をさらに進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方との合同での催しは出来なかったが、地域の方の催しに参加する事は出来た。 各種団体との連携は、簡単にはできないのではないと感じたが、徐々に進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体との調整は今後も継続し、連携して欲しい。 利用される方以外の方も事業所内に入る機会は少し増えてきている。 事業所の雰囲気はとてもよく、家のように過ごす事が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の外（駐車場等）での活動を行い、誰でも気軽に訪れる事が出来る環境を作っていく。 清掃の徹底を継続していく事で、清潔な環境を維持していく。 各種団体と関わる機会を持つていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 見学会や交流会を開催し、どのようなサービスがあるか見学・説明する場を作る。 祭り、催し物の共同開催。 施設スペースの地域開放、喫茶提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 開設祭を行うことで、交流の場を作る事が出来た。 地域への開放は今後対応するように話し合っており、徐々にではあるが、進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 祭りなど、出来る事から少しずつ行っているように感じる。 展示会場等いつでも出入りのできるスペースを作ってはどうか。 定期的な開放日を作ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 祭りを継続しつつ、より地域の方にも来て頂けるように案内方法等について、地域の組織の方と連携を図っていく。 日程を決めて、定期的に見学会（開放日）を開催する。 地域へのスペース開放を進める。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや学校行事などを把握し、参加できる環境をさらに整えていく。 ・ご家族とも共同で参加できる機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等は回覧板などで把握できたが、学校行事までは把握する事が難しかった。 ・ご家族との共同の行事は行う事が出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントには今後も出来る範囲で継続して欲しい。 ・ご家族参加の何かを行ってはどうか。 ・体調に考慮しながら、このままどんどん外出は継続して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている外出行事を継続していく。 ・花見や紅葉狩り等ご家族も参加して頂ける行事を計画する。 ・地域のイベントに参加する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に留意して相談事例の開示を行い、ご意見を伺う。 ・社会資源の把握と協力・連携体制を検証していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では、取り組み等の報告を中心に行うことが多く、相談事例の検討やご意見を伺うことまでは至らなかった。 ・資源の把握は出来る限り行えたが、連携体制の検証までは行えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の把握はある程度行っている。今後も継続し、連携等行って欲しい。 ・必要があれば、相談事例を開示して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を利用し、地域の方々との連携方法とその取り組み等の意見交換を行っていく。 ・地域の方からの相談や、相談したい事例があれば検討の場にしていく。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接のベネヴィータ王慈と合同で、災害備蓄品の準備を進めていく。 ・避難訓練や炊き出し等行う場合は、法人単独の他、地域の方と合同で実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベネヴィータ王慈と共同での災害備蓄は法人の計画を踏まえ遂行している。 ・避難訓練等は行ったが、地域の方と一緒に訓練を行うことは出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と合同の避難訓練等は行われていない。 ・備蓄は徐々に行われている。 ・災害の際は、事業所も利用者の対応が大変だと思う。地域として何か手伝う事が出来ればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々にも参加して頂ける防災訓練を計画する。 ・備蓄等は法人の計画の基づき継続していく。 ・災害の際にも、地域の安心の場所になるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 2 月 28 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	5 人	0 人	13 人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急利用の場合での、朝や夕方の時間を使い書面と言葉両面での情報共有を徹底する。 ・家族と会える機会が限られている方もあるが、一職員に任せるのではなく送迎時の少しの時間を使い、コミュニケーションを図り、関係を醸成し不安がある場合などにもいつでも話せる雰囲気作りを行う。 ・現在の連絡帳も活用し、会えない場合でも相談して頂けるようにし、初期利用時の不安の軽減につなげる。 	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を使い、家人へ利用中の状況などを伝える事が出来ており、初期段階での不安の軽減につなげる事が出来ている。また、継続的に行うことで日々の状況をご家族も把握でき、安心につながっている。 ・全職員が、いつでもご家族とコミュニケーションを図る事を心がけ、顔の見える関係づくりに努めた。 ・緊急利用に関しても、書面を提示し情報を提供し不安な部分については口頭でも伝える事が出来た。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	4	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	6	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	7	3	1	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	6	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用の際に、ご利用者が不安にならないような声掛けや、名札を示し自己紹介を行ない、他のご利用者への自己紹介を行う場を作るなどを心がけている。</p> <p>利用開始の際には管理者が同行し、対応等の説明を受けている。また、書面による情報提供も行い、職員間での共有を図っている</p> <p>利用開始前には本人の嗜好等確認し、安心して頂ける環境づくりを行う事が出来ている。</p> <p>連絡帳での情報提供や訪問・送迎時に、ご家族に対しても不安や困りごと、要望などを伺う事が出来た。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>書面にて情報確認する場合もあるが、イメージすることが難しい。</p> <p>本当に必要な支援を模索するが、初期段階ではなかなか踏み込めない場合もある。</p> <p>不安等の傾聴は行っているが、まずは楽しく過ごし、慣れて頂く事を中心に考えている為、ご本人の必要としている気づかいや不安を受け止める部分が少なくなっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>情報の多様性を深めるために複数の職員で事前面接に伺うなどし、初期利用の段階から必要な情報の収集と職員間での共有を行うことで、安心して利用して頂けるようにする。</p> <p>個別に関わる時間を増やし、不安の軽減に努める。また、些細な事も記録するでより細かな支援を行う</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 2 月 28 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	8 人	4 人	1 人	13 人

前回の改善計画
・細かなミーティングの開催で、情報や考え・思いを共有させる。 ・ミーティング以外でも個人記録を確認し、目標の把握に努める。 ・ケアマネからのケアプラン説明を行う。また、その場で分からない事があれば発言し、理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ミーティング回数を増やそうとしたが、職員が集まる事が出来ないなど増やす事が出来なかった。 ・記録を読み、情報の確認と目標把握に努めたが、すべて把握するところまでは出来なかった。 ・全職員での説明は出来なかったが、個々の職員には時間を見て説明する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	3	5	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	3	4	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	5	2	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	3	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	様々な対応の中からご利用者の気持ちを把握し、実践している。また、成功事例などを示し他の職員へもフィードバックしている。 ご本人の能力と意欲を引く出せるようなアプローチが出来た。 事業所、自宅両方の場面で関わる事が出来ている為、目標がしっかり見えている。 日々の対応の中や、ミーティングでの意見交換を行い、対応のよし悪しを検証、目標を実現させるために柔軟な支援を行う事が出来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	談話の中で気持ちを感じる事があまり出来ておらず、生活全般のニーズを上手く把握できていない。 ご本人と意思疎通が難しい方はニーズを把握しづらい為、思いに沿ったサービス提供が出来ていない。 目標等を意識はしているが、常に意識しているレベルではない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・ご利用者との会話等から気持ちや雰囲気を観察し、記録し、今置かれている状況を感じながら対応する。 ・今まで以上に、目標に対する意識を高めたサービス提供を行なう。 ・ミーティングという形式にとらわれず実践内容を記録や会話の中で伝える事で、迅速に次の対応に生かす事が出来る体制を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 2 月 28 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	7 人	0 人	13 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・本人、家人等から今までの生活過ごし方などを伺い、これを元に、対応を検討していく。・目の前の過ごし方だけではなく、一日、一週間、今まで、これからなど様々な視点を持ち、過ごしていることを再認識した上で、対応を検討していく。・職員間でも持っている情報は違う為、情報の共有化も強化していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・その日その日の支援に精いっぱいになってしまうことが多いが、様々な視点を持つ意識し、対応につなげていく事が増えた。・情報の共有化を強化することで、自分以外からの情報が増えケアに生かす事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	1	7	5	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	1	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	5	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	11	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	9	4	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ひとり一人の状況を考えた介護を行う事が出来ている。 少人数のレクリエーションの際にご本人の本音や様子の変化を確認する事が出来ている。その状況を他の職員とも話し合うなど、意識の統一と変化への対応を行う事が出来ている。 本人の気持ちや言動をわかりやすく記録に残し、情報共有に役立てる事が出来ている。 暮らしの把握などの努め、出来る限り暮らしを継続していく事を考える事が出来ている。 会議や申し送りを通じて、職員間の情報共有は頻繁に行う事が出来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	その日の変化などに注目しすぎており、利用前の自宅の生活などに目を向ける機会が少なかった。 報連相不足もあり、情報の共有が不足していることがある。 フェイスシート等を見返す事があまり出来ておらず、以前の暮らし方などを把握することが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・フェイスシートを見返すことで、現在・過去の暮らし方を把握し、考える時間を作ることで、ご利用者の気持ちや状況の理解を深める。・「自宅で過ごしている」視点を強化し、支援を検討し対応を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 2 月 28 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	7 人	4 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 支援を事業所での対応のみで完結するのではなく、自宅で生活している事を再認識し、生活スタイルの再確認、家族や地域との関係を確認し、その中で事業所としての支援を行う視点を持つ。 まずは、地域の民生委員さんやどのような活用できる資源があるかを把握していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域との関わりをしっかりと考える視点を持つことが出来た。 個々の職員で、資源の把握に努める事は出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	4	4	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	1	8	4	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	6	4	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	2	10	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご本人、ご家族よりできる限り情報を確認している。 ご本人がいつも利用されているお店で買い物することで、なじみの方と出会う事ができた。 迎えなどの際に、どのように過ごしているかを観察する事やご家族との話の中でどのような生活を送っているか把握する事が出来た。 ご利用日以外の過ごし方を確認することで、トータルの生活を理解する事が出来た。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>事業所内での過ごし方については考えていたが、自宅での過ごし方や他サービス利用の検討まで考えることが出来なかった。 ご本人が暮らしている地域でどのような関わりをしているかあまり分かっていない。 地域包括支援センター等で民生委員の担当を確認する事はあったが、支援につなげるには至らなかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 個々で把握した資源等はミーティングや書面、普段の関わりの中で共有し支援の視点を広げていく。 事業所の支援のみにこだわるのではなく、ご利用者の人間関係、生活リズムなどの視点を持ち、事業所が接していない時間についても考える視点を持って支援する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 21 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	3 人	7 人	13 人

前回の改善計画	地域資源の把握と、必要に応じ連携を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域誌資源の把握に努に努める事が出来た。また、地域の方と関わる機会も以前に比べると増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	6	4	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	10	2	1	3
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	10	1	1	3
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	9	1	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>事業所内、自宅等において柔軟な対応を行う事が出来ている。 廃品回収等知り得ている資源は活用するように心がける事が出来た。 通い・訪問・泊りなどご利用者の状況やその時々状況に合わせて変更するなど柔軟な対応が行えた。 普段の関わりの中から様子を観察し意見交換を行い、情報の共有につなげる事が出来ている。 日々状態や様子が違う方が多いため、その日の様子に合わせてサービス提供している。 他の資源も以前より活用する事が出来ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ご利用者の周辺の事を知る努力が不十分なため、地域の資源を把握しきれておらず、活用に至っていない。 ご利用者のニーズすべてへの対応がまだまだ出来ていない部分がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・事業所がある地域だけではなく、そのほかの地域やご利用者の地域の資源を把握し、有効に活用する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 21 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	7 人	1 人	13 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・地域のイベントなどに参加し開けた施設を目指し、地域の方との交流が出来る関係を作る。・見学会などを行い、交流できる機会を作る。・あいさつなど、普段から顔なじみになれるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・開設記念祭を開催し交流の場を作る事は出来たが、見学会などの設定を行うことは出来なかった。・あいさつ等は積極的に言う事ができ、数名ではあるがなじみの方もできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	0	2	10	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	0	0	12	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	2	3	8	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	3	9	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
出勤時などの挨拶を積極的に行うように心がけたことで、よく会う方とは世間話が出来るようになった。地域の祭りや知っていたイベントなどに参加、慰問などで関わる機会を確保する事が出来た。地域との関わる機会の場として、開設記念祭を行う事が出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
一部の職員に任せっきりになり、多くの職員が地域と関わる事が出来ていない。何が出来るかを明確に出来ていなかったため、具体的に地域と関わる機会が少なかった。公会堂のイベントに参加したが、イベント内容やハード面などの問題もあり、一度きりになってしまった。行事やイベント等をあまり調べておらず、交流の機会があまりなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・地域の会議や他機関との会議には順番に参加する。・地域の行事やイベントなどを調べて交流の機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 21 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

7. 運営

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	7 人	3 人	13 人

前回の改善計画
・事業所が担っている役割を再認識し、地域との連携を図る場を作り、その中で、意見を伺える体制作りを行う。 ・事業所のあり方とは何かを会議の場や、面接などを通して理解していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・以前に比べ事業所の役割を考えるようになり、行動する事も出来るようになった。また、運営推進会議の場で、意見を伺う機会や状況報告を行うことで連携の場となっている。 ・事業所のあり方とは何かについて、個々で考え面接や普段の会話の中、会議の場で議論し理解を深めていく事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	6	3	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	1	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	3	6	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	3	9	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	会議という場だけではなく、普段から上司や職員同士で話し合う事が出来る話しやすい環境になっている。地域にある公園へ散歩に行った際にゴミ拾いを行うなど小さな事から地域との関わりを始める事が出来た。ご利用者やご家族、職員からの意見をしっかりと聞きながら、自分の職務を行う事が出来ている。運営推進での意見を参考にし、より良い運営を行えるように話し合っている。地域の中での事業所の役割とは何かを考える機会を持つことが出来た。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域の方々とのように関わって行くべきなのか悩み、積極的にできていない。挨拶を積極的に行っているが、それ以上の関係性を築くことが出来ていない。地域の方と関わるイベントが少なく、なかなか触れ合う場がない。また、地域の拠点とは何か自体考える機会が少なかった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・事業所の特色をさらに深め、近隣住民の方と関わることで、必要性を高めていく。 ・事業所のあり方を話す場 (ミーティング・面接等) を作り、運営に反映していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 21 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	0 人	5 人	8 人	13 人

前回の改善計画	地域連絡会への参加は、職員を固定せず参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・連絡会へ参加する機会が少なかった為、多くの職員は参加する事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	7	3	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	3	6	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	1	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	5	5	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 月例ミーティング時に内部研修を行う事が出来ており、無理なく参加も出来ている。 あつと報告を確認し、事故を未然に防ぐ等リスクマネジメントに取り組んでいる。 事故報告書を提出し職員全体で情報共有につなげる事が出来た。その上で、対策を検討する事も出来た。 資格習得の為の研修会に参加することができた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 業務を行うことで精いっぱいになってしまい、一部の職員しか地域連絡会議に参加できていない。 地域連絡会がいつあるのか、参加して良いものなのか分からず積極的になれていない。 毎月研修に参加する事が出来ないこともある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・職員一人一人が興味のある研修に積極的に参加していく。 ・連絡会等があった場合には、参加職員を固定しない。また、参加できる会があるか高齢者支援センター等地域に関わっている期間と連携し情報確認を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 21 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口
横山・古市・樗木・山本・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	7 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・虐待や拘束に繋がらないか言葉遣いや、普段の介護を検証する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・普段の介護を検証することで、自らの行動を振り返る結果につながり、意識が向上した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	2	1	0	13
③	プライバシーが守られている	10	3	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	5	0	3	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	6	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家人から拘束具使用を依頼されたが、身体拘束は行わないという視点で考え、見守り等安全対策を行い使用する事は無かった。 個人名が入っている書類はシュレッダーにかけるなど注意している。 チェック項目について、ひとり一人が意識し考え行動に移している。 身体拘束を行うという考え自体無く、ご利用者の行動をできる限り妨げないように対応している。 人生の先輩・自分の家族同様と考え、個人を尊重しつつ声掛けの際にはトーンや言葉遣いなど配慮している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
もし、自分が同じことをされたらという視点が欠けていた。 以前よりは減少しているが、まだ敬語を使用していない場面があった。 勉強不足のため、成年後見制度について理解できていない。 スタッフが揃った時にご利用者がいる中で個人名は出さないものの、情報交換などしてしまった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・言葉遣いを今まで以上に注意する。 ・自分が同じことをされたらという視点を持ち、相手の思いを感じ、虐待防止、プライバシー保護に努める。 ・自分の常識が全てではないと考え、他の職員の意見や考えを聞き、人権やプライバシーに配慮した支援を行う。	